

SCG058-P08

会場:コンベンションホール

時間:5月23日 10:30-13:00

愛知県西部における短期的スロースリップイベント Short-term slow slip events in western Aichi Prefecture

北川 有一^{1*}, 武田 直人¹, 板場 智史¹, 松本 則夫¹, 小泉 尚嗣¹

Yuichi Kitagawa^{1*}, Naoto Takeda¹, Satoshi Itaba¹, Norio Matsumoto¹, Naoji Koizumi¹

¹産総研活断層・地震研究センター

¹AFERC, GSJ, AIST

産業技術総合研究所活断層・地震研究センターでは、東海・近畿・四国周辺に約50点からなる地下水等総合観測網を持ち、地下水の観測を行っている。約半数の観測点ではボアホール式歪計と地震計が設置され、地殻歪と地震の観測を行っている。

南海トラフ沿いのプレート境界では活発な深部低周波微動とほぼ同時に短期的スロースリップイベント(SSE)が発生していることが良く知られている。一方、伊勢湾北部では、深部低周波微動はあまり活発ではなく、短期的SSEも2006年1月の事例を除いて殆ど知られていない。

鉛直地震計アレイ観測網(V-net)によるセンブランス解析を参考に、愛知県のTYE観測点とTYS観測点における地殻歪変化を調査した。2010年3月と2010年9月、伊勢湾北東側の愛知県西部において短期的SSEが発生したと思われる事例が見つかった。これらの事例では深部低周波微動はあまり活発ではなかった。

キーワード: 地殻歪変化, 短期的スロースリップ, 深部低周波微動, 鉛直地震計アレイ, 伊勢湾, 南海トラフ

Keywords: crustal strain change, short-term slow slip, deep low-frequency tremor, vertical seismic array, Ise bay, Nankai Trough